

### 奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	広範囲脳白質病変を示す単純ヘルペス脳炎の神経抗体の探索		
② 研究期間	実施許可日 から 2025 年 3 月 31 日		
③ 対象患者	2000 年 1 月から 2023 年 8 月までに奈良県立医科大学附属病院で加療を行った単純ヘルペス脳炎患者から、臨床経過で頭部 MRI 画像での広範囲な脳深部白質病変を示した単純ヘルペス脳炎患者		
④ 対象期間	2000 年 1 月 1 日 から 2023 年 8 月 31 日		
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学 脳神経内科学講座,		
⑥ 研究責任者	氏名	形岡博史	所属 奈良県立医科大学 脳神経内科
⑦ 使用する試料・情報等	<p>下記の臨床情報を診療録より収集します。</p> <p>既にあるカルテ情報</p> <p>臨床所見</p> <p>年齢、性別、既往歴、臨床像、臨床経過、身体・神経学的所見、頭部 MRI 画像、頭部 RI 画像、頭部 CT 画像、髄液・血液所見、脳波所見、治療、転帰、測定済みの神経抗体の結果</p> <p>これから取得する情報</p> <p>神経抗体を測定していない場合、既に入院加療を行なった際に収集し、奈良県立医科大学 脳神経内科研究室に冷凍保存してあった血液・髄液検体を、日本大学脳神経内科 原 誠先生に送付し神経抗体を測定します。</p>		
⑧ 研究の概要	単純ヘルペス脳炎はウイルス脳炎の中で最も頻度が高く、特異的な抗ウイルス剤も存在するにもかかわらず未だに機能予後及び生命予後はよくない疾患であります。脳炎は脳皮質を含む脳実質に侵襲いたしますが、深部脳白質には神経細胞がなく通常は侵しません。単純ヘルペス脳炎は初回治療を行い病状が軽減いたしますが、遅れて頭部 MRI 画像で脳深部白質に広範囲な異常信号を臨床経過で示し転帰が悪くなっ		

	<p>た単純ヘルペス脳炎を我々は経験しています。近年、神経細胞に対する自己抗体が検出される自己免疫性脳炎が報告されており、その自己抗体である NMDA (anti-N-methyl-d-aspartate receptor) 型グルタミン酸受容体に対する抗体が単純ヘルペス脳炎の再発時に検出されることが報告されています。我々は初回治療後に遅れて出現する脳白質病変を示した単純ヘルペス脳炎の髄液検体とラットの海馬組織を用いた抗体検出法で、既知にはない神経抗体が検出された症例をも経験しています。これまで当院で治療を行ないました頭部 MRI 画像で広範囲な白質病変を呈した単純ヘルペス脳炎の血液・髄液検体を用い、神経抗体の関与を示すことを目的としています。</p>		
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	年 月 日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	<p>研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。</p> <p>詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。</p>		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。		
⑫ 個人情報の取扱い	<p>カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。</p> <p>研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。</p>		
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学附属病院 脳神経内科 担当者：形岡 博史		
	電話	0744-22-3051 (内線：2316)	FAX 0744-29-8860
	Mail	hk55@naramed-u.ac.jp	